資料５

「取組状況等共有シート」取りまとめ

各団体から提出いただいた「取組状況共有シート」について、以下のとおり取りまとめを行った。

	現在実施中の取組みや今後検討する取組みの内容など
観光産業	■荒尾市の観光素材を使った旅行商品や体験プランの企画・造成・販売 ■既存の観光素材の見直しと活用方法の模索・新しい観光商品素材の発掘 ■新規イベントの提案 ■土産品など物販の仕組みの改革 ■着地型旅行商品の全国発信・PR 活動 ■グリーンランドをメインとした集客促進・情報発信（ホームページ改訂、グリーンランドとの連携プラン造成） ■SNS の活用：一朝一夕には厳しいのではないか（時間と費用が必要） ■世界遺産を結ぶシャトルバスの運行 ■ラッピングバスの運行 ■観光マップ（最寄りのバス停を掲載）を路線バス車内に掲示 ■「おもやいタクシー」の企画・運行 ■市内の各スポットを周遊する観光ルートの開発
観光関連産業	■ゴルフ・ホテルの利用が多い韓国人向けの対応強化（韓国人スタッフ配置、韓国語ホームページ・ブログ） ■テレビや SNS（Facebook、Twitter、Line、Instagram、YouTube）での情報発信 ■新型コロナウイルス感染症に係る業種別ガイドライン等に基づく対策 ■マスクシールを配布し、デコレーションしたマスク姿の写真を SNS に投稿してもらうイベントの実施
観光公共組織	■デジタルマーケティングによるターゲットの明確化と情報の発信 ■持続可能な観光地づくりに向けたコアなファンづくり ■観光素材のデジタル化 ■観光人材の育成
市民参画	■荒尾干潟（蔵満海岸）での珈琲販売 ■荒尾干潟（蔵満海岸）と「食」を絡めた取組み（テイクアウトランチやティータイム） ■訪れた人が発信したくなるような話題性のあるイベントの企画・運営 ■「ネット世代」「非ネット世代」それぞれを意識した情報発信 ■Instagram の機能（タグ付けなど）やネット広告の活用方法についての事業者向け講習会の実施 ■市内各所に有明海の夕陽を堪能できるスポットを設置し、マップを作成し配布する（web 版も） ■自家用車利用が多いため、駐車場を確保する ■海辺のキャンプ場や廃校跡地を活用したユースホステルなどの個性的な宿泊施設の整備 ■空き家バンクを活用した宿泊施設やカフェの設置（都市圏からの移住希望者へ安く提供） ■ご当地グルメ（荒尾といえば〇〇という料理）の開発と普及促進 ■レンタサイクルの導入と情報発信（観光スポットとグルメスポットをサイクリングマップにして配布） ■野鳥の飛来に関する情報の発信（日本野鳥の会非会員に向けたデジタル情報の発信） ■荒尾干潟水鳥・湿地センターの愛称化（方言の使用は観光客が疎外感を覚えるため NG）